

2024年10月吉日

泌尿器科専門医資格取得者 各位

一般社団法人 日本泌尿器科学会
専門医制度審議会

専門医更新条件の変更について

専門医更新条件につきまして、2029年度から一部条件が変わりますのでご案内申し上げます。
また、「専門医更新テスト」（2026年度から）の詳細が決まりました。
最新情報は学会ウェブサイト随時掲載いたしますので、あわせてご確認ください。

1. 「i) 診療実績の証明」の免除が廃止されます（2029年度から）
2. 「専門医更新テスト」（2026年度から）の詳細が決まりました

1. 「i) 診療実績の証明」の免除廃止【2029年度更新申請から】
 - ・ 従来、連続して3回以上専門医を更新している場合、「i) 診療実績の証明」（10単位）の単位について免除を選択することも可能でした。
 - ・ この度、日本専門医機構の規則変更により、免除の廃止が決まりました。
 - ・ 2029年度から、専門医更新者全員について「i) 診療実績の証明」（10単位）が必要となります。10単位は、「NCD登録症例証」「手術症例一覧表」「症例一覧表」のいずれか、あるいは合計で満たしてください。
2. 「専門医更新テスト」の詳細【2026年度更新申請から】
 - ・ 2022年11月にご案内したとおり、2026年度から専門医更新条件に「専門医更新テストに合格すること」が加わります。専門医更新者全員が対象です。
 - ・ テストはeテスト形式で実施します。問題数は10問です。更新申請の受付期間中に、その年の更新該当者のみ、JUA academy「研修単位・業績登録」内で受験いただけるようになる予定です。不合格の場合、合格するまで繰り返し受験いただけます。

2025 年度に専門医を更新する方

- (1) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること
 (2) 必要単位を50単位以上取得していること
 今回4回目以上の専門医更新の場合（会員 MyWeb の専門医情報で、更新回数
 「3回」以上と記載）は「診療実績の証明（10単位）」の免除を選択することも可能。
 その場合、40単位が必要。

項目		必要単位数	
	診療実績の証明	(①②のいずれか選択)	
i)	①	合計 10 単位 (いずれかで満たしても可)	
	NCD 登録症例証 手術症例一覧表（様式 2） 症例一覧表（様式 3）		
	②	免除（要 診療従事証明書）	0 単位
	共通講習 ※1	3～最大 10 単位	
ii)	うち 必修講習 A (医療安全、感染対策、医療倫理)	各 1 単位以上	計 3 単位以上必須
	うち 必修講習 B ※2 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済（保険医療等）、両立支援)	0～最大 7 単位	必須ではありません
	うち 任意講習 C ※2 (臨床研究・臨床試験、災害医療)	0～最大 7 単位	必須ではありません
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15 単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※3	3～最大 15 単位	
合 計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合	50 単位	
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合	40 単位	

- ※1 必要な講習単位（ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習）について
【必須】 40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
 （総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる）
- ※2 必修講習 B・任意講習 C
 必須ではない。
- ※3 学術業績・診療以外の活動実績
 学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。

2026 年度に専門医を更新する方

- (1) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること
- (2) 専門医更新テストに合格していること
2026 年度から「専門医更新テストに合格」追加
- (3) 必要単位を50単位以上取得していること
 今回 4 回目以上の専門医更新の場合（会員 MyWeb の専門医情報で、更新回数が「3 回」以上と記載）は「診療実績の証明（10 単位）」の免除を選択することも可能。
 その場合、40 単位が必要。

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明	(①②のいずれか選択)	
	①	合計 10 単位 (いずれかで満たしても可)	
	NCD 登録症例証 手術症例一覧表 (様式 2) 症例一覧表 (様式 3)		
	②		
免除 (要 診療従事証明書)	0 単位		
ii)	共通講習 ※1	3～最大 10 単位	
	うち 必修講習 A (医療安全、感染対策、医療倫理)	各 1 単位以上	計 3 単位以上必須
	うち 必修講習 B ※2 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済 (保険医療等)、両立支援)	0～最大 7 単位	必須ではありません
	うち 任意講習 C ※2 (臨床研究・臨床試験、災害医療)	0～最大 7 単位	必須ではありません
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15 単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※3	3～最大 15 単位	
合計	i)診療実績の証明で①10 単位を選択した場合	50 単位	
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合	40 単位	

※1 必要な講習単位 (ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習) について

【必須】 40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
 (総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる)

※2 必修講習 B・任意講習 C
 必須ではない。

※3 学術業績・診療以外の活動実績
 学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。

2027 年度～2028 年度に専門医を更新する方

A. 2022年度以降に専門医初回認定された方

- (1) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること
- (2) 専門医更新テストに合格していること
- (3) 必要単位を50単位以上取得していること

今回 4 回目以上の専門医更新の場合（会員 MyWeb の専門医情報で、更新回数が「3 回」以上と記載）は「診療実績の証明（10 単位）」の免除を選択することも可能。その場合、40 単位が必要。

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明	(①②のいずれか選択)	
	①	NCD 登録症例証 手術症例一覧表（様式 2） 症例一覧表（様式 3）	合計 10 単位 (いずれかで満たしても可)
	②	免除（要 診療従事証明書）	0 単位
ii)	共通講習 ※1		8～最大 10 単位
	うち 必修講習 A (医療安全、感染対策、医療倫理)	各 1 単位以上	計 3 単位以上必須
	うち 必修講習 B (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済（保険医療等）、両立支援)	各 1 単位以上	<u>2027 年度から追加</u> 計 5 単位以上必須
	うち 任意講習 C ※2 (臨床研究・臨床試験、災害医療)	0～2 単位	必須ではありません
iii)	泌尿器科領域講習 ※1		15 単位以上
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※3		3～最大 15 単位
合計	i)診療実績の証明で①10 単位を選択した場合		50 単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40 単位

※1 必要な講習単位（ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習）について

【必須】 40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。

（総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる）

※2 任意講習 C

必須ではない。

※3 学術業績・診療以外の活動実績

学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。

B. 1986～2021年度に専門医初回認定された方

- (1) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること
- (2) 専門医更新テストに合格していること
- (3) 必要単位を50単位以上取得していること

今回4回目以上の専門医更新の場合（会員 MyWeb の専門医情報で、更新回数が「3回」以上と記載）は「診療実績の証明（10単位）」の免除を選択することも可能。その場合、40単位が必要。

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明	(①②のいずれか選択)	
	① NCD 登録症例証	合計 10 単位 (いずれかで満たしても可)	
	手術症例一覧表 (様式 2)		
	症例一覧表 (様式 3)		
② 免除 (要 診療従事証明書)	0 単位		
ii)	共通講習 ※1	3～最大 10 単位	
	うち 必修講習 A (医療安全、感染対策、医療倫理)	各 1 単位以上	計 3 単位以上必須
	うち 必修講習 B ※2 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済 (保険医療等)、両立支援)	0～最大 7 単位	必須ではありません
	うち 任意講習 C ※2 (臨床研究・臨床試験、災害医療)	0～最大 7 単位	必須ではありません
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15 単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※3	3～最大 15 単位	
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合	50 単位	
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合	40 単位	

※1 必要な講習単位 (ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習) について

【必須】 40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。

(総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる)

※2 必修講習 B・任意講習 C

必須ではない。

※3 学術業績・診療以外の活動実績

学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。

2029 年度以降に専門医を更新する方

A. 2022年度以降に専門医初回認定された方

- (1) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること
- (2) 専門医更新テストに合格していること
- (3) 必要単位を50単位以上取得していること

2029年度から「i)診療実績の証明」の免除廃止

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明	合計 10 単位	全員必須です
	NCD 登録症例証	いずれかで満たしても可	
	手術症例一覧表 (様式 2)		
	症例一覧表 (様式 3)		
ii)	共通講習 ※1	8～最大 10 単位	
	うち 必修講習 A (医療安全、感染対策、医療倫理)	各 1 単位以上	計 3 単位以上必須
	うち 必修講習 B (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済 (保険医療等)、両立支援)	各 1 単位以上	計 5 単位以上必須
	うち 任意講習 C ※2 (臨床研究・臨床試験、災害医療)	0～2 単位	必須ではありません
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15 単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※3	3～最大 15 単位	
合計		50 単位	

※1 必要な講習単位 (ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習) について

【必須】 40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。

(総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる)

※2 任意講習 C

必須ではない。

※3 学術業績・診療以外の活動実績

学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。

B. 1986～2021年度に専門医初回認定された方

- (1) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること
- (2) 専門医更新テストに合格していること
- (3) 必要単位を50単位以上取得していること

2029年度から「i)診療実績の証明」の免除廃止

項目		必要単位数	
i)	診療実績の証明	合計 10 単位	全員必須です
	NCD 登録症例証	いずれかで満たしても可	
	手術症例一覧表 (様式 2)		
	症例一覧表 (様式 3)		
ii)	共通講習 ※1	3～最大 10 単位	
	うち 必修講習 A (医療安全、感染対策、医療倫理)	各 1 単位以上	計 3 単位以上必須
	うち 必修講習 B ※2 (医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、 医療経済 (保険医療等)、両立支援)	0～最大 7 単位	必須ではありません
	うち 任意講習 C ※2 (臨床研究・臨床試験、災害医療)	0～最大 7 単位	必須ではありません
iii)	泌尿器科領域講習 ※1	15 単位以上	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績 ※3	3～最大 15 単位	
合計		50 単位	

※1 必要な講習単位 (ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習) について

【必須】 40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。

(総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる)

※2 必修講習 B・任意講習 C

必須ではない。

※3 学術業績・診療以外の活動実績

学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。